

# Cine RT system 各画面と機能の紹介

## RANGER View



- Base Sensor の距離計、最大で 35ft の測定距離
- メートル/フィート表示が切替可能
- 遠隔でセンサー面からのオフセットの調整が可能
- 感知する最短&最長距離の設定で、測定範囲の制限が可能
- 感知しない距離範囲を設定し、不必要な障害物を無視
- 主な機能やメニューへワンタッチでアクセス

## BUG View



- Bug Transmitter までの距離計、見通しで最大 120ft の測定距離
- メートル/フィート表示が切替可能
- 遠隔でセンサー面からのオフセットの調整が可能
- 最大で 4 つ使用できる BUG の中からソースを選択
- BUG 取り付け位置と被写体とのギャップを補正するオフセット機能
- 主な機能やメニューへワンタッチでアクセス
- 遠隔で BUG のシャットダウンが可能

## Dual View



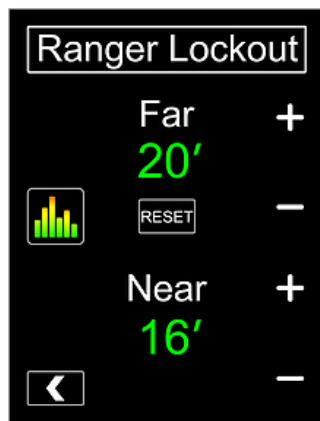
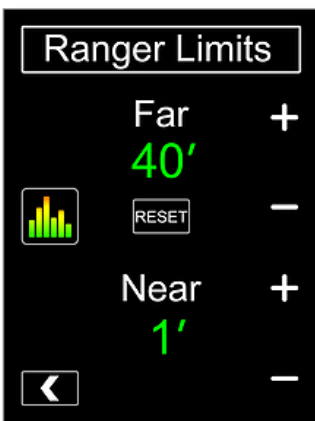
- 2 つの異なるソースを選んで、同時に距離を表示可能
- RANGER ソースと BUG ソース、もしくは 2 つの BUG ソースを選択可
- ソース1のデフォルトは、最後に表示していた LIVE VIEW ソース

## Marks View



- ターゲットの位置とフォーカスマークをグラフ上でリアルタイムに確認
- 距離の縮尺や方向のカスタマイズが可能
- 水平/垂直表示が切替可能
- ターゲットの位置を固定表示し、グラフとマークを動きに合わせてスクロールさせる SCROLL MODE
- カスタマイズ可能なマークと”中間マーク”サイン

## Limits & Lockouts



- RANGER MODE で最短&最長測定距離を設定し、感知する範囲を制限する LIMITS、不要なカメラ前の通過や障害物を無視
- LOCKOUT 画面では、逆に感知しない距離の範囲を指定可能

## Tape & Marks Editor



- HANDSET、BUG、RANGER のいずれかのソースを使って、8 つまでのフォーカスマークを記憶
- 記憶したマークを個別に、もしくはまとめて編集できる MARKS EDITOR TOOL
- 記憶したマークをリアルタイムで表示、または”読み上げる”、MARKS VIEW と FOCUS WHISPER 機能

## Focus Whisper



- ターゲットのマーク通過をアシスタントの代わりに音声で読み上げ
- ターゲットの移動速度に合わせて、読み上げのタイミングを選択可能
- Focus Whisper のプリセットは、マークの”読み上げ”を正確にするため、平均速度をモデルにしています
- 一般的な 3.5 mm イヤホンジャックで、様々なオーディオ機器を使用可能
- 素早いマーク修正のため、MARKS EDITOR へのショートカットを配置



FOCUSBUG  
TECHNOLOGIES INC

<https://www.focusbug.com>

From Vancouver, Canada